

船堀幼稚園 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

船堀幼稚園長 東 美和
 コーディネーター 秋葉 良成

2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	8人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
ドングリの会 (江戸川総合人生大学修了者)	自然物の提供、染物体験	3名
泥団子の会 (PTA0B・元PTA会長等)	もちつき手伝い(12月)	6名
PTA(登録外)	夏まつり・もちつき・運動会等の 手伝い	PTA会員
個人ボランティア (地域・町会の方・元職員等)	未就園児の会の手伝い(週1回)	1名



夏まつり お店のお手伝い



年長組アイ染 染液を作り 染め方指導



もちつき かまどでもち米を蒸かし、杵でつきます

4 今年度の成果と課題

<成 果>

子どもたちが地域とのつながりが少なくなっている中、幼稚園でもちつきや染物体験など、様々な体験ができる機会はとても貴重です。先生や保護者ではなく、園を支えてくれるいろいろな方に親しみを感じ、触れ合いを楽しむ機会になりました。

<課 題>

教職員の減少により、園務分掌の負担が大きくなっています。夏まつりやもちつき等、子どもたちに経験をさせてあげたい行事を今後も厳選し、今年度同様の内容が実行できるか検討する必要があります。

また園児数減少により、PTA や学校応援団に参加する方も減っています。園の活動に参加することで、子どもたちとの触れ合う楽しさを感じられる機会であることをアピールしていきたいと思えます。

5 コーディネーターより

学校応援団のメンバーが中心となり、園の保護者と共に子どもたちのためにさまざまな行事を支えていきました。明るくて、人との触れ合いを楽しむことが好きな幼稚園の子どもたちと関わると、元気がもらえとお話してくださる方もいます。自分の子どもは修了してから何年もたっているけれど、応援団として園とつながりがあることも楽しさのひとつです。

これからも船堀幼稚園を支えていきたいと思えます。

6 学校長より

行事や活動の内容により教職員だけでは、人数が足りなかったり、経験が不足していたりするため、実施が難しいこともあります。学校応援団の方がサポートしてくださるからこそ、子どもたちが体験できることがあります。日頃から園を支えてくださっている皆様に感謝いたします。